

旭岡



令和7年度 旭岡中学校 学校だより NO.9

函館市西旭岡町3丁目5番地
TEL 50-3609 FAX 50-4412



【重点目標】 『自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成』

HP <https://member-asahioka-jh.edumap.jp>



「説明しても伝わらない」すれ違いをていねいに

～ 今井 むつみ 氏の著書より ～

教頭 鈴木 亮

子どもたちと話していると、ときどき「言ったはずなのに伝わっていない?」「ちゃんと聞いていたはずなのに、まったく別の理解をしている?」などの「すれ違い」を感じることがあります。これは家族同士でも、学校の教職員と生徒の間でも起こることで、決して特別なことではありません。

心理学者である今井むつみさんの著書『何回説明しても伝わらない』はなぜ起こるのか?には、「大人と子どもは、同じ言葉を使っている、頭の中で思い描いているイメージがまったく異なることがある」という、興味深い指摘が紹介されています。

例えば「ちゃんと」や「しっかり」といった言葉。大人にとっては具体的なイメージを伴う言葉でも、子どもにとっては「何となく方向性だけを示す言葉」にすぎないことがあります。大人の言う「ちゃんと」「しっかり」と、子どもが受け取るそれらの言葉は違う。つまり、「言った」ことがそのまま「伝わった」ことになるわけではないのです。

さらに、コミュニケーションには「聞く → 理解する → 話す → 伝える → 伝わる」という段階があり、その一つひとつの間で生じる小さなズレが重なることで、すれ違いが起きることも少なくないそうです。つまり、

- ・「聞いたこと」と「自分が理解したこと」は違う。
- ・「話したこと」と「相手に伝わったこと」も違う。
- ・そして「伝えたつもり」と「伝わった現実」はしばしば一致しない。

ということです。

こうした「落とし穴」は、私たち大人でも日常的に経験するものです。だからこそ、子どもたちにとっては、なおさら難しい世界なのだと思います。

そこで大切なのは、「すれ違いは当たり前」に起こるということを知っていることです。知っているだけで、イライラしたり、お互いを責めたりする気持ちが軽くなるように感じます。そして重要なのは、「そのズレをどう埋めていくか」という視点です。例えば、

- ・「つまり、こういうこと?」と確認してみる。
- ・表情や反応から、理解の度合いを探ってみる。
- ・一度の説明でわからなくても、経験を重ねる中で少しずつ理解が育つことを信じる。

こうした小さな積み重ねが子どもたちの安心感につながり、やがては、自分の考えを伝える力や、人の話に耳を傾ける力へと育っていくそうです。

学校でも、子どもたちの「見えている世界」に寄り添いな

がら、ズレを丁寧にすり合わせるコミュニケーションを心がけていきます。そして家庭でも学校でも、子どもたちを真ん中に置きながら、一緒にゆっくりと育ち合っていけたらと思います。

どうぞこれからも、無理のないペースで、子どもたちの成長と一緒に見守り、支えていただければ嬉しく思います。

冬は『心の乾燥』にもご注意を



先日、教頭会の講話で興味深いお話がありましたので、簡単に紹介します。

『季節』と『子どもたちのようす』に関する内容で、心理学が基になっているそうです。季節と子どもたちの変化を見ていると、確かに自然のリズムの影響を感じる場面があり、なるほどと思うことがありました。

春は、新しい環境に慣れるだけで精いっぱい時期です。大人でも職場が変わった直後は気持ちが揺れやすいように、子どもたちも知らないうちにたくさんのエネルギーを使っています。

秋は一年で最も学習が進みやすい季節と言われています。教室でも「わかった」「できた」という声が多く聞こえてくる頃で、安定した気候が脳にも心にも良い影響を与えてくれるのだそうです。

では、冬はどうでしょう。

風邪や感染症が話題になりがちな季節ですが、実はそれと同じくらい気をつけたいのが「心の乾燥」なのだそうです。寒さや日照時間の短さから気持ちが沈みやすくなるのは、大人にも子どもにも共通して見られる傾向だといえます。だからこそ、この季節はちょっとした温かさが大切ですね。

「今日はどうだった?」「寒かったね」など、ほんの一言のやり取りでも、気持ちがふっと軽くなることがあります。家でも学校でも、誰かに優しく受け止められることで、子どもたちが安心した表情を見せてくれることがあります。

季節にはそれぞれのよさと難しさがあります。冬は少しペースが落ちて、それは自然なこと。無理に頑張らせるのではなく、ゆっくり整えていける時間として受け止められたらと思います。

これからの寒い季節、心と体の「うるおい」を大切にしながら、子どもたちの毎日を一緒に支えていきましょう。

どうぞあたたかくしてお過ごしください。



学びの充実に向けて

～小中連携土曜参観・校内研究授業～

11月8日(土)、土曜授業参観を実施しました。毎年この時期に、旭岡小・中連携事業として小・中学校が同じ日に設定して行っています。当日はご多用の中たくさんの保護者の方々に足を運んでいただき、大変ありがとうございました。生徒たちは少々緊張気味でしたが、どの授業も真剣に学習に向かう様子が見られました。中学生ともなると「授業参観に来なくていいよ。」と言われることも多いかと思います。ですが、学校でのお子さんの様子を直接見る機会はとても貴重です。ご家庭とはちょっと違う一面など、新たな発見があるかもしれません。(頑張っていたらぜひ褒めてください!)。これからもお気軽にお越しください。



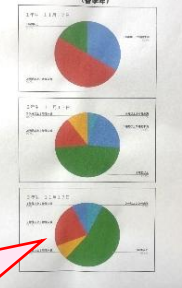
11月13日(木)には、1年B組・3年B組の校内研究授業を行いました。校内研修の一つで、本校の全教員に加えて渡島教育局と函館市教育委員会の方も参観します。生徒たちはお互いに意見を出し合ったり、クロームブックでまとめを行ったり、意欲的に取り組んでいました。授業後は図書室で教員対象の研修会を開催し、指導力向上に努めました。



～定期テスト前学習キャンペーン～

全国学力・学習状況調査や学校評価アンケート等の結果から、家庭学習習慣の定着が本校の課題となっています。その対策として、定期テスト前2週間で学習キャンペーンに取り組みました。クロームブックにその日学習した教科、時間、コメントを入力することで、自分の家庭学習を見直し改善につなげることを目指しています。生徒たちからは、「2時間以上できた日があったから良かった。」「全教科頑張れた。まだワークが終わってない教科もあるから早めに終わらせる。」「全然できなかつたから時間を延ばせるようにしたい。」「分かる問題が増えてきたので、このまま続くようにしたい。」「定期テストの最後の週末だったので追い込むようにやった。」「いつもより短かったけど集中しできた。」等の言葉が見られました。

学習日:11月7日(月) テスト勉強に励んだ生徒(敬称略)



毎日の家庭学習時間を集計したものを学年ごとにグラフ化し、それぞれの傾向を見える化しました。

NO DRUG! 薬物乱用防止教室開催

11月25日(火)、函館中央警察署の方に薬物危害の正しい知識や心身への弊害、誘惑に対する対処法等について講話をいただきました。ここ数年、若者の大麻による検挙者が急増しています。北海道のHPによると、大麻などの薬物売買の手段としてSNSが使われる事例が多いです。SNS上では大麻を意味する隠語が使われることもあり、違法薬物だと知らずに手を出してしまうケースも……。実際に売人と関わってしまったら、簡単には断れないものです。何より



重要なのは「絶対に関わらない」と「誰かに相談する」こと。そして、私たち大人の目配り・気づきも不可欠ですね。

インフルエンザの感染予防について

全道的にインフルエンザが流行しています。マスクの着用・うがい・手洗いを心がけ、早めの休養と受診で体調を整えるよう、ご協力よろしくお願いいたします。



12月 行事予定

- 12/ 1(月) 1・2年生二者面談 13:10～
3年生 三者面談 14:00～
★1・2年生給食なし
- / 2(火) 1・2年生二者面談 13:10～
3年生 三者面談 14:00～
★1・2年生給食なし
- / 3(水) 1・2年生二者面談 13:10～
3年生 三者面談 14:00～
★全学年給食なし
- / 4(木) 1・2年生二者面談 13:10～
3年生 三者面談 15:00～
★1・2年生給食なし
アウトリーチ事業(1年生音楽)
- / 5(金) 3年生三者面談 15:00～
1年生ノーマリー教室
- / 9(火) スクールカウンセラー来校
- /10(水) 職員会議
- /17(水) リコーダー部演奏会(函館養護学校)
- /18(木) 一斉専門委員会
- /19(金) 1・2年生性の保健講話
- /23(火) 生徒会誌原稿第1次締切
- /24(水) 大掃除
第3回漢字検定校内申込み締切
- /25(木) 第2学期終業式 **<Formal Day>**
- /26(金) 冬季休業～1/14(水)まで
- /29(月) 年末年始学校閉鎖～1/3まで



3年生の進路に関する予定は、学年から別途出される連絡等をご確認いただくようお願いいたします。